



防火ポスター展

今年で31回目となる防火ポスター展は、幼少期から消防への親しみと火災予防に対する意識を育み、市内全域に火災予防啓発を行うことを目的として実施しています。

今年も、市内の小学校6年生596名から防火ポスターを募集し、厳選な審査の結果、次の方々が選ばれました。※敬称略

◆最優秀【田原市防火協会会長賞】



清田小学校 川口夏生

◆優秀【田原市長賞】渡會チナリ(田原中部小)【田原市議会議長賞】青

山貴哉(和地小)【田原市教育長賞】



なお、最優秀作品については、田原市防火協会／田原市危険物安全協会の防火ポスターとして、市内に貼りだされます。

荒木天(和地小)【田原市消防団長賞】桑名垂実(亀山小)【田原市危険物安全協会会長賞】森下姫羅(中山小)【田原市消防長賞】加藤愛子(衣笠小)

また、最優秀作品は、愛知県の平成25年度防火作品展で消防試験研究センター愛知県支部長賞(準特選)を受賞しました。川口夏生くんは、11月2日(土)、名古屋市中区役所ホールにおいて表彰されました。

きゅうきゅう広場を開催

救急医療週間の恒例イベント「きゅうきゅう広場」を、今年も9月8日(日)にサンテパルクたはらで開催しました。救急医療週間とは、



▲AEDの使い方を習う参加者

広く市民の皆さんに応急手当の重要性を理解していただくことを目的とした「9



▲制服を着て記念撮影

月9日の救急の日」を含む一週間をいいます。当日は天候に恵まれ多くの家族連れが訪れ、消防職員の行う救命の連鎖をテーマとした寸劇を観たり、AEDに触れ救命手当を体験したりしました。

また、会場内では女性防火クラブの方々の協力をいただき、盛況に行うことができました。

消太、救助はじめました

今回の救助資器材は「三連はしご」を紹介します。

●三連はしご

三連はしごは、二段階に伸びるはしごで、用途に合わせて高さを調節できます。長さは最長で8.7mまで伸びます。救助現場で隊員が高い所へ進入する際や、二階などで助けを待つ人を救出する際に活躍します。例えば、三連はしごとロープを利用し、要救助者を吊り下げて降下させる「応急はしご救助」があります。その他にも、三連はしごを活用した様々な救助方法があるため、日々訓練に励んでいます。

